

令和5年度第1回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和5年4月26日（水曜日） 午後6時30分～午後8時30分

開催場所 立川市錦学習館第2実習室

出席者 [委員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
竹内 英子 委員 宮本 直樹 委員 岩元 喜代子 委員
杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 加藤 暁子
同 錦学習館長 野口 麻衣子
同 幸学習館長 柳 直昌
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0名

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
 - (1) 錦学習館中規模改修工事後の見学について
 - (2) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
4. 協議事項
 - (1) 令和4年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) コーディネーターとしての職員の養成、研修体制の強化について
5. その他
 - (1) 令和5年度生涯学習推進審議会委員・社会教育委員の年間スケジュールについて
 - (2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について
 - (3) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について
 - (4) 令和5年度第1回立川市議会定例会報告

配付資料

1. 令和4年度第3回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要
2. 令和4年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
3. 令和4年度生涯学習推進センター職員 関連研修等一覧
4. 令和5年度立川市生涯学習推進審議会年間スケジュール
5. 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設 設計概要 説明会
6. 令和5年度第1回立川市議会定例会報告

会議内容

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 錦学習館中規模改修工事後の見学について

(事務局・センター長) 始めに施設見学をさせていただきます。お手元に錦学習館中規模改修工事の議会報告をさせていただいた資料をお配りしております。中規模改修は館の活動を止めずに行うものとなりますので、詳細はお読みいただければと思います。LED化や屋上防水など主に内部のものとなりますが、明るさなどトイレなどは特に実感していただけるかと思います。平面図をお持ちいただきながら野口よりご案内いたします。錦学習館には図書館や中学生のための教育支援センター「たまがわ」という施設がございますので、見ていただければと思います。

(事務局・錦学習館長) 図書館が19時で閉館となりますので先にご案内いたします。皆様、1階へお願いします。

～ (館内見学) ～

(会長) 一通り回りましたが、何かご質問等ございますか。

(A委員) たまがわと学習館が同じ建物にあることに何かメリットのようなものはあるのでしょうか。

(事務局・センター長) 直接的なメリットはありません。児童館が近かったり、施設を利用していただけるという複合施設としての強みはありますが、それ以外にはないかもしれません。ただし、他の生徒の目を気にする生徒もいるので、学校の中に不登校児の施設があるよりは、このような形がよいかもしれません。

(B委員) 学校の中にあると行きづらいという子たちが、別の場所にあると行きやすいというのはあるかと思います。

(C委員) 旧多摩川小学校のところで以前は受け入れていたので、錦学習館の方が通いやすいということもあると思います。私個人の希望としては、駅の中にあるのが一番いいのではないかと思います。いつでも行ける環境というのが子供たちにとっては必要だと思います。

(事務局・センター長) 小学生の適応指導教室は柏小学校の中にありまして、校舎から離れたところにありますが、その場所でいいのかは議論があるかもしれません。八王子市では不登校特例校で、学校全体を不登校の子のために指定したり、やり方は様々ありますが、施設に限りがありますので難しい部分もございます。

(C委員) 先ほど確認しましたが、外階段があって、中を通らずに入ることができるので、人と顔を合わせずに入れるのはいいことだと思います。

(会長) ありがとうございます。改修後に困ったことなどいただいたご意見はありますか。

(錦学習館長) 「もう少しきれいになると思ったのに」というご意見はあります。あくまでも機能改善のための改修となりますので、音響設備をよくしたりということではできておりません。再開して初めてわかることもございますので、それに対しては

日々対応させていただいております。

(会 長) よくなった点は明るさですか。

(錦学習館長) 明るさもそうですが、トイレが一番反響があって、未だにお褒めの言葉をいただくことがあります。

(会 長) 以前のトイレを知っているとなおさら感想を言いたくなりますね。

(A委員) 以前は、スリッパに履き替えて利用されていたのですか。

(錦学習館長) 以前から靴のままご利用することは可能でした。

(会 長) 以上でよろしいでしょうか。(意見なし)

(錦学習館長) ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

(事務局・センター長) 今年度、西砂学習館でも同様の規模の改修工事が行われる予定ですので、今後ご報告させていただきます。

(2) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

(会 長) A委員よりご報告をお願いいたします。

(A委員) お手元の資料1でございます。いつものとおりの書き方となりますので、お時間のある時にお読みいただければと思います。前半は、各委員から近況報告、情報交換を行いました。後半は5ページの「5 議事」のところでは、講座を企画・運営する団体間の協働について、今までも情報共有は行ってきたのですが、具体的にどのような協働ができるだろうかということで「このようなことを考えています。一緒にやりませんか」という形で進めています。最後の8ページ、「6 その他(1)」で日程について確認を行っておりまして、たちかわ市民交流大学企画運営委員会は年4回のペースで開催しておりましたが、来年の2024年は生涯学習推進計画の策定に合わせて、開催頻度を増やそうということを確認している内容となっております。以上です。

(会 長) ありがとうございます。何か質問等ございますか。(なし)

4. 協議事項

(1) 令和4年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録(案)について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料2をご覧ください。令和5年2月14日の第7回生涯学習推進審議会の会議録でございます。事前に確認をお願いしておりますが、修正意見はありませんでした。本日ご意見がなければご承認いただいたということで市ホームページに公開させていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。ご質問や修正点はございますか。(なし) それでは、ご承認いただいたということになりますが、何かお気づきの点がございましたら、会議終了までにご指摘ください。

(2) コーディネーターとしての職員の養成、研修体制の強化について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 資料3をご覧ください。令和4年度の生涯学習推進センター職

員関連研修等一覧ということで、職員のコーディネート力向上という観点から、センター職員が受講者または講師として参加したものに限定して記載しております。新任職員研修は異動等で新たにセンター職員となった者を対象として、生涯学習全般の研修をアームで行っております。事業連絡会は、会計年度任用職員も含めて、講座の報告や意見交換をしております。講座の組み立てなど話し合っている実質的な会議と研修を兼ねたものとなっております。3番目はご存知の通り、東京学芸大学の公開講座に4名参加したものでございます。都市社連協第2ブロック研修会はみなさんにもご参加いただいたものとなりますが、本日参加している幸学習館の柳係長に事例の報告を行っていただいております。立川市地域学校協働本部連絡会というのは、市役所で地域学校コーディネーターと行った会議で、係長職がファシリテーターとして参加してまいりました。次が地域学習館運営協議会の交流会ということで、西砂学習館で行われました。生涯学習係長が学社一体の取り組みの議題について、地域学校協働本部の講義をしたということでございます。倉持会長にお願いをした生涯学習スタッフ関係職員研修に受講者として14名参加をさせていただきました。東京都公民館研究大会は、小平市等で行われた研修に7名参加したものとなります。最後が、東京都人権学習指導者研修ということで、会計年度任用職員が報告者として1名、受講者として7名参加しております。会議的な要素も含まれておりますが、コーディネート力の向上というところにスポットを当てているものもございますので、研修に限りなく近いものとなります。

本日参加の柳係長が東京学芸大学公開講座に参加した結果、どのように活かしているかや感想などを交えて、この後ご報告させていただきます。

(会長) ご質問はまとめて行うので、先にご報告をしていただくのですが、学芸大と連携して事業をしているということで、私からも資料を提供させていただきました。去年の職員研修でもお話しているので繰り返しのなってしまいますが、パワーポイントの資料や後で回覧させていただきますが、このような報告書を冊子として作成しています。パワーポイントの資料をめぐっていただくと、立川市の審議会や計画の中でもそうですが、職員のコーディネート力の向上が経年で課題となっております。研修と力量形成の機会を持つということと、実際の対応力を上げていくということはどうつながっているかということで、研修の機会は大切ではあるのですが、新しい機会を作り出せていないということをお話している中で、このテーマにさせていただきました。スライド資料をおめくりいただくと社会教育士があるのですが、社会教育・生涯学習の中には社会教育士という新しい称号があります。社会教育主事というのは教育委員会事務局で勤務する方が、必要な単位を取った上で、発令されて初めて社会教育主事と名乗ることができるものとなります。資格に必要な科目をとってもそのままなれるものではないという資格になります。社会教育のための学びというのは、様々な職種あるいは行政職員にも活かされるものだろうということで2020年度から社会教育士という称号が文部科学省の方で設置されました。学校、企業やNPO、地方行政の中で、社会教育士の称号を活かして様々な学びや人や

地域づくりに活かしてもらおうというところで推進されているものとなります。3 ページ目のところで、真ん中に社会教育士がいて、左上のところに社会教育施設や社会教育関係団体がいて、左下には学校・大学や教育委員会が書いてあるのですが、生涯学習や社会教育など教育に関わる人材にこのような学びを活かしてもらいたいという期待で、対話を通して人々の力を引き出すとか、主体的な参加を促すとか、そのような力や能力がコーディネートに必要なのではないかと期待されているものです。さらにめくっていただくと社会教育士を研修の中でも培うということで学芸大学との協働研修というものに取り組んでいます。立川市から研修の予算を措置していただいている、東京都公民館連絡協議会とも連携して、どちらも職務として研修に来ていただいています。昨年度は7回しかできなかったのですが、例年は月1回、金曜日の午後いろいろな地域の公民館、教育関係やまちづくりの職員、市民が集まって研修をするというものです。講義型というよりは演習型になっておりまして、それぞれの職場でコーディネートの実践について語り合っ、聞き合うとともに文章にして実践記録として提出します。自身の実践から学ぶということと他人の実践から学ぶということを目的にしているので、抽象的な理論というよりは具体的な現場で活かせる学びの場になることを目指しているものとなります。写真もついています、このように集まってグループになって、お互いが学び合い語り合うということをしています。2022年は、立川市から4名参加いただきました。平井さん、浅井さん、あと、継続して参加していただいている加藤さん、水崎さんには講座の運営にもご参加いただいています。2021年は柳係長にもご参加いただきましたが、市民交流大学市民推進委員からも2名ご参加いただいて、これまでの取り組みを文字にさせていただきました。私の昨年度の講座の実践記録をつけていただいたので、後程参考までにお読みいただければと思います。それ以外に柳係長のかわせみカフェ、浅井さんの青春学級、加藤さんの平和都市 30 年企画、水崎さんのアウトリーチの資料をお配りしています。水崎さんは一つの事業ではなく、アウトリーチというテーマで学習館の外との協働という形でお書きいただいています。本日は柳係長に来ていただいたので、ご報告や感想を述べていただければと思います。

(幸学習館長) 幸学習館の柳です。よろしくお願ひします。研修では倉持先生に大変お世話になりました。ありがとうございます。参加した理由は、他の自治体の方などと今の職場ではお話ししている機会がありませんので、研修に参加することによって、他自治体ではどのような取組をされているのかなどの情報を得られればいいかと思い参加しました。研修は、倉持先生にご講義いただいた後、グループで話し合いを行いました。グループでは自分がどのような講座や催し物をしているのか紹介し合っ、他の方からご意見や質問をいただくという流れで始まりました。他自治体の情報も得られたのですが、自分の取り組みについて、他の方からご意見をいただくことによって、よりその意義がわかっていくということがわかりました。このように自分のことを振り返らないと過ぎ去ってしまうことだと思ひのですが、最終的に記録としても残すことができまし

た。課題に対しても認識することができましたので、翌年のかわせみカフェに活かしていくことができていると思います。以前は学生さんとのやり取りが少なかったのですが、当日に判明することがあったのですが、必要なことはメールでのやり取りで情報共有して準備を進めることができました。その中で職員ができることというのは、他部署との連携となりますが、昨年のかわせみカフェは「平和」をテーマで行ったので、歴史民俗資料館の方でどのような歴史をたどってきたのか話を聞いてもらって、平和の本を読み聞かせをすることになったので、中央図書館に行って読み聞かせのレクチャーを受けていただきました。このような調整ができたのは研修を受けて課題が見えてきたことによる効果かと思います。感じたことは、生涯学習推進センターに保管される情報というのは年度単位の情報になるのですが、時系列で経緯を振り返ることもできましたので、過去の取り組みについても改めて認識することができました。

(会長) ありがとうございます。コーディネートする力量というのは、単なる知識や経験だけではないので、気づいたことを踏まえて、他部署の方につないだり、全体の見通しをもって取り組まれたり、時系列を気にされたり、そういったところを業務の中でパフォーマンスとして発揮していただいているというのは、講座づくりの知識やノウハウとは違う専門性として大事な部分かと思いました。この研修の課題としては、外部の研修に参加するのが他市も含めて大変厳しい状況で、調整が難しいとお聞きしています。あと、職員の異動の関係で力をつけてきた職員が異動になってしまうということがあります。研修に来て力をつけて、いざこれからという時に異動となると、その学びは直接的には活かさないということがあります。ただ、間接的に活かすことはできると思いますが、どのタイミングで参加するかや学びを個人や職場で活かしたり共有していくかというのは、課題だと思っています。センター長から立川市の職員の研修の展開と学芸大と連携して取り組んでいる研修の展開と受講された柳係長のその後の展開をうかがってきました。皆様から自由に意見や質問をお出しただけだと思います。この間に研修の報告冊子を回ささせていただきます。何かございますか。

(会長) いきなり私から質問して申し訳ありませんが、研修の一覧表で、立川市が主催で行っているのは上の二つですね。新任職員研修と事業連絡会。

(事務局・センター長) 主体的に行っているのはその通りです。

(会長) プロジェクトがあるとお聞きしているのですが、そちらはどのような位置づけなのでしょう。

(事務局・センター長) 子どもや平和などいくつかのプロジェクトに分かれていて、各学習館の職員が1名関わっております。メインとサブには各館の係長がついて、それ以外に各館の係員が配置されて6名程度で構成されています。このメンバーでどのような講座にしていくかを話し合っていくことがメインとなっておりますので、今回の資料には記載させていただかなかったのですが、倉持会長がおっしゃることも実践しております。

(会 長) 研修という位置づけではなく、事業を館を超えて企画・運営することを主に行っているということでしょうか。

(事務局・センター長) そうですね。対象者の見直しや反省点を盛り込んだり改善的な内容も含まれています。ただし、業務に追われたり日程調整の困難さもあって、コロナ禍ではほとんどできていないという状況です。

(会 長) 学習館の職員が対象ですか。

(事務局・センター長) 会計年度職員も含まれていますが、そうです。

(会 長) 新任職員と事業連絡会は学習館の職員だけではなく、生涯学習推進センター全体の研修ということでしょうか。

(事務局・センター長) そうですね。

(会 長) 事業連絡会は事業担当者だけになりますか。

(事務局・センター長) 取扱注意となっている資料をご覧ください。人事異動の内容が記載されています。赤の部分が異動職員で、学習館の職員も並んでいるかと思いますが、これらの職員で事業連絡会は構成されています。プロジェクトも同様です。これらを束ねているのは生涯学習係になります。少し話は逸れてしまいましたが、研修に参加したのにすぐに異動というのもあります。まさに今年度、砂川学習館に平井という職員がいたのですが、環境対策課というところに異動となりました。そのためコーディネート力をつけて、活かすというのが難しいというのも一つ課題としてございます。新任職員研修というのはセンターの全職員が対象となって行われるものでございます。

(会 長) ありがとうございます。

(B 委員) 回していただいている実践記録集がとてもいいもので、市民が欲しいものが集約されているような気がします。こちらは職員の方全員に配られるものなのでしょうか。研修に参加した人だけにしかお配りになっていないのでしょうか。とてもいいものだったのでお伺いしたいと思いました。

(会 長) 受講者は年末年始の時間もかけて作成いただいているものになりますので、中身の濃いものになっているかと思えます。受講料を1万円ちょっといただいて、自治体や都公連（東京都公民館連絡協議会）の方は組織が出していただいています。その金額の中で刷っています。参加された方とその組織には冊子をお配りしているものとなります。都公連は参加した方はホームページで見れるようにするか、もう見れるかわかりませんが、そのような形で共有はされています。

(事務局・センター長) 我々も組織としていただいているので、回覧しております。

(B 委員) ありがとうございます。続けて申し訳ありませんが、異動で受け継がれない部分があるというお話がありましたが、私はウェブで見るより、紙面の方が読みやすいです。資料として置いてあるだけでは、読む時間がなかったり、興味もわかないかと思えます。インデックスなどをつけていただいて、ここだけは読んでほしいとかにするといいと思います。昨年、進捗評価をまとめさせていただく中で、「専門性」という言葉がいくつか出てきて、気になっていました。コーディネート力も出てきました。何を大切にしたらいいかが書いてあっ

たので、立川市のものと合致するかはわかりませんが、工夫すれば読んでみる気が起きるように思いました。

(会長) ありがとうございます。研修は集合研修だけではないので、効果的な資料の閲覧という観点から、読むべき視点を持って回すとか、集まらなくても効果的に共有することができますね。そういったことも課題で、報告書とは違って、参加者自身の目線で記載されていて、一方で他の受講者たちと検討して作られているので他の方にも読んでいただける中身にはなっているかと思います。この冊子を研修に使用できないかと考えていて、いろいろな自治体の方が来ていただいているので、戻ってから現場の研修で活かすような支援ができないかと考えているところです。そうすれば、わざわざ来ていただかなくても一人受講者がいれば、自分たちで研修を組むことができるとかあれば、負担を減らすことができるのではないかと考えています。

(事務局・センター長) このいただいた資料を最初に見るのは管理系の職員で、実際には講座を扱っておりませんので、参加した職員に見てもらって、どの部分を優先的に見るか付箋をつけていただくところから始めてまいりたいと思います。

(B委員) 皆様お忙しいと思います。私も現場にいた頃、こういったものが回ってきても目を通すところではないという状況で、日々追われているような状況なので、一つでも二つでも心に残るものがあるといいなと思います。

(会長) ありがとうございます。研修一覧をご覧いただくと、「職員研修」ということだけで見ると、多く開催しているわけでも多くの職員さんが参加しているわけでもないのかと思います。地運協の委員さんや市民交流大学の委員さんであったり、関係者と協働で研修を行っています。たちかわ市民交流大学という傘の中で行政、市民、組織・団体と一緒にやろうという構想のわけなので、研修も協働でやるという考え方はありうると思います。そういう強化の仕方もあるのだなと思いました。地域学校協働本部連絡会連絡会はファシリテーターとして参加したのが4名だったという意味ですかね。

(事務局・センター長) 係長がグループの中に入ってコーディネートをしたということです。

(会長) コーディネーターさんのコーディネートを係長が行ったということですね。

(事務局・センター長) 司会や記録に特化したような印象があるのですが、コーディネートを力をつけるために入っていたということなので、それも含めて研修ということで行っています。

(会長) 話し合いの場のファシリテートを実践しながら、それを研修として位置付けたということですね。

(事務局・センター長) 先ほどプロジェクトの話が出ておりましたが、今年新たにICTの分野でデジタルプロジェクトというのを立ち上げました。講座の利用やどのように使ってもらえるかなど、プロジェクトとして強化したというのがひとつ特徴としてあるかと思います。

(会長) 計画に載っているようなことを達成するためには仕組みを支える職員さん

が重要なキーになっていることは間違いないかと思えます。講座等の事業だけではなく、様々な形で関わっていただくわけですが、今回全体像を見ることができたので、評価の時も参考にできるいい資料になったかと思えます。今年度も始まったばかりなので、ご意見等あればおっしゃっていただければ、試行錯誤していただける機会があるかと思えます。

5. その他

(1) 令和5年度生涯学習推進審議会委員・社会教育委員の年間スケジュールについて

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料4となります。毎年年度の始めの生涯審でお配りしているものとなりますが、縦二つに分かれておりまして、左半分が生涯審関連のものということで、日程を載せていますのでご確認いただければと思います。右半分が社会教育委員関連ということで、先日実施されました定期総会から始まっております。7月と2月にある理事会というのは会長と事務局で参加いたしますので、皆様に参加していただくのは10月11月に集中してしまっていますが、昭島市で行われる第2ブロック研修会、社会教育研究大会の全国大会と関東大会が予定されています。このあたりがオンラインで行われるかなど細かいことは発表されておりませんので、詳細が出てきたタイミングでご報告をさせていただいて、出席者を募ればと思っております。他の部分は後程ご確認いただければと思います。

(会 長) こちらについて何かご質問等ございますでしょうか。(なし) 普段はアイムの5階で行っておりますが、本日は錦学習館に来ております。ご希望等あれば、ぜひ、この学習館も見たいとか調整していただけるかもしれませんので、早めにご言いただければと思います。

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 4月15日の土曜日に行われた定期総会の内容になります。欠席された方には資料があるので、改めてお渡しいたします。内容としては例年通りとなりまして、すべての議案に対して承認となっております。令和4年度の決算、令和5年度の予算、令和5年度の事業計画、令和5年度の役員についてといった中身になっておりまして、一点だけお伝えさせていただきます。令和3年度に関東甲信越静東京大会、倉持会長にご登壇いただいた時のことになるのですが、この大会は所属する都県を順繰り回していて、令和3年度は順番で東京都が担当していました。その時集めたお金、繰越金を都市社連協としてどのように扱うかを令和3年度に大会が終わって、令和4年度も理事会や役員会でずっと話し合いが続いていました。40万円を次回の東京大会のためにちゃんと残しておきましょうという決まりになったのですが、なぜ、このことが議論になったかと言いますと、お金を集めるのが大変で、実はこの会議でも寄付を募りますというご案内させていただいたのですが、役員市になっているところはすごい額集めているのに、そうではない市は立川市も含め0円というところもあって、議論が白熱して温度差

や偏りがありました。協力した市からすると、頑張って集めたお金を次回の東京大会のために使わないで、一般会計に入れて、年々減らしていくのはどうなんだという議論があったので、長い期間かけて、今回のような形で残してあります。次回まわってくるのは7年後くらいになると思いますが、立川市としても他課も含めて企業と連携しているような課にも声をかけつつ、少しでもいいので協力していければと考えているところです。他市では社会教育委員の会議から寄付をしているところもあったのですが、寄付のための予算というのは準備することが難しいので、企業や団体さんに声をかけながら少しでも貢献できるような形をとっていければと思います。だいたい先の話になってしまうのですが、ここでご説明させていただきました。定期総会は以上となりますが、その後講演会がございまして、昭島市の方から対話についてということでお話がありましたので、ご出席された方で、ご感想や内容について共有できることがあればご意見いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

(会長) 私は講演の前に帰ってしまったのですが、昨日ちょうど国立市の社会教育委員の会議があって、そこであきしま会議について話があって、この会議でもあきしま会議の話をもっと詳しく知りたいという話題もあったので、タイミングとしてはちょうどよかったかと思います。ご参加された委員から印象的なことなどあれば教えていただければと思います。

(副会長) 講演の合間に質問がありますかということで、飽きさせないためにお話の後に質問タイムのようなものを設けて、1回は講師が差したのですが、ずっと手が上がらなかったもので、僕が手を上げたところ、拍手が沸きました。質問した内容は、この会議では女性が多いのですが、登壇した市の代表は男性ばかりで女性は2名だけでした。もしくは活動しているのはほとんど女性なので、男性が参加するにはどうしたらいいか、このような現状はどういう状況なのでしょうかと質問しました。参加者からは「男はおだてるとうまくいく」という回答があって、仕事を退職して自分にできることというものがあるはずだから、おだてて参加を促すのがいいのではないかということでした。女性はコミュニケーションが上手な方が多くて、すぐ入っていけることもあります。男性はそのようにして引き込むのだなと印象的でした。

(会長) 途中にべちゃくちゃタイムというおしゃべりをする時間があつたと聞きまして、長くしゃべりすぎないという工夫があつたようです。ありがとうございます。D委員もいらっしゃいましたがいかがですか。

(D委員) 対話ということでこちらから伝えなくてはいけないということと相手のことも聞きながら、裏側で思っていることも考えながら話をしたり、聞いたりしないとうまくいかないのだと思いました。前からよく言われていたことなのですが、そこにいない人のことも考えて意見を言うなど、その場にいない人の立場も考えなくてはいけないということを改めて感じました。

(会長) ありがとうございます。あきしま会議につながるように展開されていたのだと思います。丁寧に対話についてご説明があつたようですね。A委員は表彰されました。おめでとうございます。何かご感想などございますか。

(A 委員) 通算 5 年というだけで表彰されたので、中身が濃くなかったかもしれませんが、生涯学習推進審議会に 10 年くらいいるような気がしています。社会教育委員会議と統合されてからの任期ということと、間に中抜けの時期があったので、今回表彰されました。ありがとうございます。あきしま会議について、第 2 ブロック研修会のときにいろいろとお話を聞いて、とても楽しそうと思って期待が膨らみながらお話を聞いていました。今回詳しく丁寧にご説明されていて、実態が見えてきたという感触がございます。企画や運営をして反省を繰り返してより良く改善しているのだろうと想像しました。それくらい緻密に練っている印象です。15 年くらい前に立川でも同じようなことを行ったのですが、うまくいなくて、何がいけないのか、何があきしま会議と違うのかを考えていました。あきしま会議というのは開催頻度が多いのかと思ったら年に 1 回か 2 回なのですね。また、集まっているのも 50 人程度です。私の妄想が膨らんでいたというのもあったのですが、このくらいの規模なら続けられるかなと思いつつ、続けることが大切のだと思いました。私は当時、目標を高く持ちすぎていて、100 人とか 150 人くらい集めると收拾がつかなくなってしまうという経験をしていました。それから、内容を整理しないと運営側も参加する側も疲弊してしまいますし、参加者から不毛な議論で何をしているのかよくわからないという声が上がったりします。おそらくあきしま会議でも同じことは起こっているのかと思うのですが、対話に価値を見出している人は残っていて、そうではない方は次回から参加しなくなっているのではないかと思います。対話を重視するという点でつながるといってもあるのだなど、私も続けることで価値を見出すということを何かの形で取り組んでみたいと思いました。あと、自分の活動を宣伝しようと思って来ていて、あわよくばメンバーを増やしたいという自分の活動が中心にあるので、あきしま会議ではどうなのかと思いました。講演では「みんながやっていることが共有されることで刺激になって、それがまちを良くしていく。そのためのボランティアとして話に来てほしい」とおっしゃっていました。自分の活動のためではなく、みんなの活動に刺激を与えるためにあなたの活動の話が必要なんだという言い方は、これなら続けて来てくれるだろうと、そういった工夫が随所に見られて勉強になりました。

(会 長) ありがとうございます。B 委員はいかがでしょうか。

(B 委員) あきしま会議については聞きたいと思っていて、今おっしゃられた通り、出席すること自体がみんなのためになるという言葉やゴミ拾いをしている高校生などがボランティアをしている意義というのがどこにあるのか、誰かがそれを見て刺激されるというところなのかと思います。副会長がおっしゃったように同じような方ばかりが参加されていて、他の方を引き込むにはという質問に対しても、ボランティアではなくてもいいのですが、それを見て感じる人がいるとか、心を揺り動かすようなキーワードなどが必要なのかと思いました。昭島市にはあきしま会議というコミュニケーションの場があるというのが誇りでもありますし、だれでもウェルカムという思いがあるというのがとてもいいと思いました。

(会 長) 先ほどの研修と構造は同じだと思っているのですが、個々の主体的な学びや活

動と人づくりなどのつながりをつくって、地域をつくっていくのと個々の学びを対話という形でつないでいるのかと思います。そこに一定の意図や働きかけがないと自分の行っている活動が、自分たちのためだけではなくて次の地域をつくるとか、次の人材を育てるというところにつながっていかないのかと思います。あきしま会議という場を設けて、あえていろいろな世代やジャンルの方が集まっていただくことで、具体的な目線と地域をつくっていくという両方を盛り込んでいると思います。昭島市という地域性というのもあるので、立川市ではもっと規模も大きいですし、多様性のある市だと思いますので、立川らしいあり方というのはあると思います。昭島市も会長市という大役を終えたところだと思いますので、お願いすれば具体的にお聞きする機会が設けられるかもしれません。今年度は若者版を企画しているようです。

(D委員) 高校生が同窓会気分で集まって活動しているという話があって、何かに活用できるのではないかと思います。同窓会気分で学習支援にもつながって、若い人たちが中々入ってこられない状況の中で、一緒に何かをやるのではないかと思います。

(C委員) あきしま会議の件は、前回の会議でご意見を出させていただきましたが、総会であきしま会議が取り扱われたのに参加できず残念です。講演をしていただいた二ノ宮さんの娘さんが高校生で、ゴミ拾いのボランティア活動をされているのですが、朝日新聞に投書したのは、日本で集めた古着等をアフリカに善意で送っているのですが、送られてきたアフリカでは現地のごみとして処理されているということを SNS で知って、自分の活動は何なのかということを書いたものが新聞に載っていました。この方のお母さまということもあってお話を聞いてみたいと思いました。ブロック研修会であきしま会議の話聞いて、どういう組織でどのような活動をどのように進めているのか興味があったので、参加できなくて残念でした。また資料をいただける機会等ありましたら、よろしくお願いします。

(会 長) ありがとうございます。直接参加してお聞きするといろいろと得られるものがあるなというところと、それを共有させていただくことでさらに得られるものもあるので、このような機会がありましたら共有させていただければと思います。

(3) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 資料5でございます。設計が固まりましたので、設計概要の説明会資料からご報告させていただきます。3月17日夜と3月19日の昼間に開催しまして、日曜日の回にはE委員にご参加いただきました。議会でも令和3年度から注目があつた事業で、この内容を報告しましたところ、この内容で進めてほしいということで承諾が得られました。展示の部分ではご意見をいただいたところがあったのですが、折衷案でご理解いただけたところでございます。施設の内容については議会でご意見はなく、説明会で自転車やバイク置き場を増やしてほしいなどという個別のご要望はございましたが、この内容でご理解いただけたところでございます。資料がカラーではないのでイメージしにくいかもしれませんが、

生涯学習施設が新しくなるというのは大きなトピックとなりますので、この度報告をさせていただきました。木材を潤沢に使用しまして温かみのある施設となっております。現在の砂川学習館は地下1階の地上2階建ての建物でしたが、地上2階建てとなりまして多少小さくなりますが、アプローチをしやすくなるように段差を設けないなど様々な工夫をしております。コミュニティルームは地域の方にご利用いただきたいということで緩やかな利用をするなど新たな仕掛けを考えております。

資料については、後日お時間ありましたらお目通しいただければと思います。現在は、入札の最中でして業者が決まりましたら、工事の説明会を行います。それから工事に着手いたしまして、令和7年度から新たな施設に変わるというスケジュールでございます。

(会長) ありがとうございます。以前いただいた資料より、だいぶ具体的な内容になっているかと思えます。イメージ図があって期待が膨らむところではありますが、実際が変わるのは少し先ということで、着実に進んでいるということでご説明いただきました。このことについてご質問等ございますでしょうか。(なし) 現状の砂川学習館はどういう状況でしょうか。

(事務局・センター長) 建物は現在閉鎖しております。条例上も「砂川学習館」という位置づけのものは削除しております。砂川学習館係というのは残っておりまして、3名おりますが、西砂学習館で執務いたします。継続的に行う事業もございまして、寿教室や地域活性化事業、砂川で言うとブルーベリーの事業などは継続しますが、口座数は減らす予定です。学習館まつりは開催することができませんが、西砂学習館の一部で事業を継続します。電話については、砂川学習館の電話をそのまま転送する予定ですので、従来通りつながります。4～6月は引っ越しの準備をしながら執務をしておりますが、7月からは西砂学習館で執務できるように準備をしているところでございます。

(4) 令和5年度第1回立川市議会定例会報告

(会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 今まで市議会の定例的な報告をしてきてはいないと思いますが、議員さんがどのように考えているかというところは重要かと思えます。特に生涯学習のところでは、どのような話題が上がっているかということでお出ししました。2月14日から3月15日の会議日程でして、5ページのところに書いてあるとおり開催されております。3月は予算の議会となりまして、重要な議会となりますが、1か月ほどかけて行われております。代表質問というのを最初に行うのですが、市長が予算提案を行いまして、各会派から質問をいただきます。本日の資料は教育に関するものを抽出しております。その中で生涯学習に係るものとしましてはたちかわ自民党・安進会さんから3つ目の丸ポチで、先ほどご説明した内容についていただきました。もう一つは日本共産党さんから最初の丸ポチで、「平和・人権事業での市の取り組み充実が必要では」ということで昨年度の平和都市宣言30周年の各学習館で行った展示の事業と広島の中学生派遣を所管して行っておりま

すので、その継続の話をさせていただきました。おめくりいただきまして、3番目の一般質問のところですが、一般質問は、各議員さんから持ち時間1時間の中で注目していることを聞かれるというものです。生涯学習に関することと言えば、7番目の桑川敏男議員から「1 回遊性のあるまちづくり part4 ④柴崎分水の今は」ということで歴史民俗資料館所管の部分ではございますが、道路の一部に柴崎分水が流れていまして、共存が難しいのですが、重要な遺産となりますので、活かしてご理解いただきながら共存しているところがございます。続いて、柴崎学習館の利用状況ということで、非常に利用率が高い状況ですので、予約が取れないというお声をいただいております。現状はその通りでございますが、近隣の柴崎会館という施設がございますので、こちらをご利用いただくようご案内をいたしました。詳しい一般質問の内容については6ページ以降に教育分野以外も記載されておりますので、後程ご覧いただければと思います。文教委員会につきましては14ページに一覧がございまして、この審議会でお伝えしている内容について2件ご報告を行いました。3ページに戻りまして、5に予算特別委員会というのがあります。予算に関する審議でございますが、説明は割愛させていただきます。続いて議案審議ということで、関係するところと申すと最後の4ページのところ、条例改正のところ、「砂川学習館」を解体し、新たに建設することから別表より削除するということになっております。削除にあたり、建て替える期間の一時的なものなので、法制部門と協議しまして、利用に供しない期間が2年というのは影響が大きいという判断で条例から外したというところでございます。議会報告については、今後もこのような形で直近もしくは準備が整い次第、会議でご報告をさせていただきます。

(会 長) ありがとうございます。予定されておりました報告・協議事項は以上となりますが、皆様から何かございますでしょうか。

(F 委員) 第7次生涯学習推進計画のもとになる市民の意向調査を行いますよね。前回アンケートをとったものをもとにというご説明がありましたが、コロナの影響で社会が変わっているので、どのような意向調査をするのかを事前に教えていただきたいと思っております。第7次計画の方向性を決めていく大事なものになると思っておりますので、審議会でご意見も述べさせていただき、時代に合った計画にさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(事務局・センター長) アンケートの実施自体は10月です。他市がどのようなアンケートをしているか情報収集しているところです。次回かその次にはご意見をいただく機会を設けさせていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(F 委員) そのようにお考えだったと思っておりますが、念のため確認させていただきました。

(会 長) ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。(なし) それでは、第1回生涯学習推進審議会を終わりたいと思っております。ありがとうございました。